



図書館だより

開館準備号

図書館の本はどう並んでいる？

－ 日本十進分類法とテーマ別配架 －

図書館に並んでいる本は、ただタイトル順に並んでいるわけではありません。

図書館では、本を探しやすくするために、内容ごとに分類して並べています。

今回は、日本十進分類法と、新しい図書館でとりいれるテーマ別配架について紹介します。

新しい図書館の開館に向け、今月号から図書館のことを毎月お届けします。



1 本には「住所」があります

日本の多くの図書館では、日本十進分類法（NDC）を使って、本を内容ごとに分けています。

日本十進分類法の10の分野					
0	総記	百科事典・情報など	5	技術	工業・建築・料理など
1	哲学	哲学・心理学・宗教など	6	産業	農業・園芸・商業など
2	歴史	歴史・伝記・地理など	7	芸術	美術・音楽・スポーツなど
3	社会科学	政治・法律・教育など	8	言語	日本語・外国語など
4	自然科学	数学・科学・医学など	9	文学	小説・エッセイなど

たとえば「913.6」は？

9 = 文学
↓
91 = 日本文学
↓
913 = 小説・物語
↓
913.6 = 日本の近現代小説など

分類番号は本の「住所」です。

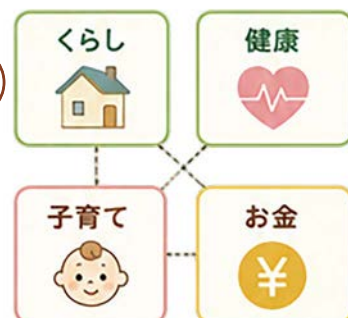
同じような内容の本が近くに並ぶので、探しやすくなります。

913.6

2 「知りたいこと」は1つの分類だけとは限りません

知りたいことは、いくつかの分野にまたがっています。

たとえば…
子育てのヒントが知りたい！



だからこそ、テーマ別配架で関心ごとや目的から本を見つけやすくなります。

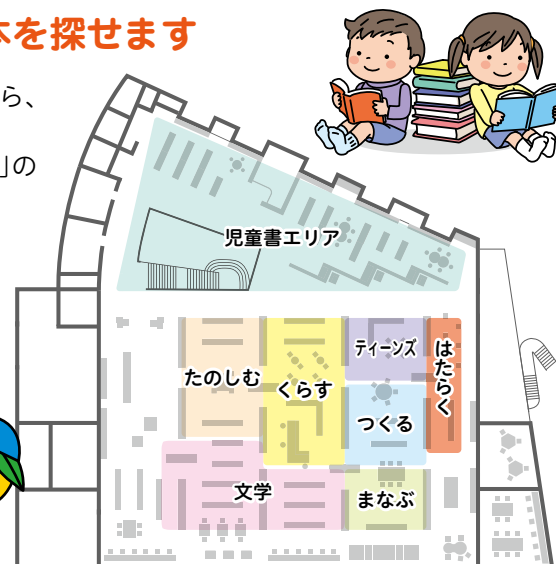
3 新しい図書館では、テーマからも本を探せます

新しい図書館では、分類による本の並びを基本としながら、関心のあるテーマからも本を探しやすくなります。

「たのしみ」「くらす」「はたらく」「つくる」「まなぶ」「文学」のテーマを設け、本との出会いを広げます。

※テーマ名・配置は変更となる場合があります。

6つのテーマ	たのしみ	趣味を楽しむ本
	くらす	暮らし・健康・家庭など
	はたらく	仕事・進路・キャリアなど
	つくる	ものづくり・手芸・料理など
	まなぶ	学び・調べもの・知識など
	文学	小説・エッセイ・詩など



4 図書館ミニ知識

たとえば「日本史」の210番台も、時代や内容によって細かく分類されています。

気になる本を1冊見つけたら、となりの本も見てください。

新たな出会いがあるかもしれません。



図書館に関する情報をホームページでお知らせしています。ぜひご覧ください！

